

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学物質の名称	プロボトルSP 2L、プロボトル4L、プロボトル10L
品番	282-W 2L、284-W 4L、236-W 10L
会社名	ホワイトプロダクト株式会社
住所	東京都港区芝浦3-14-17
担当部門	研究開発室
電話番号	03-3452-0231
FAX番号	03-3454-0253
メールアドレス	info@white-bear.jp
緊急連絡先	03-3452-0231
推奨用途及び使用上の制限	料理保温用詰め替え用液体燃料

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	分類基準に該当しない
健康に対する有害性	
急性毒性(経口)	区分 外
皮膚腐食性・刺激性	区分 3
眼に対する重篤な損傷 ／眼刺激性	区分 2B
発がん性	区分 外

※記載の無いものは「分類対象外」「分類できない」

ラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語

警告

危険有害性情報

- ・ 軽度の皮膚刺激
- ・ 眼への刺激

注意書き

【安全対策】

- ・ 保護手袋/保護面/保護眼鏡を着用すること。
- ・ 取扱い後はよく手を洗うこと。

【応急措置】

- ・ 皮膚に付着した場合、直ちに多量の水と石鹼で洗うこと。
- ・ 衣類に付着した場合、汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- ・ 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当を受けること。
- ・ 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けること。取扱い後はよく手を洗うこと。

その他の危険有害性

危険性

: 可燃性の液体

環境影響

: 環境中で微生物により分解する。

安全データシート

3. 組成及び成分情報

化学品・混合物の区別 : 混合物

成分及び含有量

化学名/一般名	含有量(%)	CAS NO.	化審法	安衛法	PRTR法
ジエチレングリコール	>99.9	111-46-6	2-415	非該当	非該当
染料	微量	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし

化審法 官報公示整理番号(化審法)

労働安全衛生法 表示物質 : 施行令第18条 名称を表示すべき有害物

通知物質 : 法第57条の2 施行令第18条の2別表第9 名称等を通知すべき有害物

PRTR法 : 特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律

4. 応急措置

- 吸入した場合
- ・ 常温では蒸気圧が低いので吸入する危険性はないが、高温では蒸気が発生する。
 - ・ 吸入した場合は空気の新鮮な場所に移し衣類を緩め安静にして医師の手当てを受ける
- 皮膚に付着した場合
- ・ 直ちに多量の水で洗い流す。
 - ・ 湿疹や赤斑などの症状がある場合は医師の診察を受ける。
 - ・ 衣類、靴等に付着した場合は脱ぎ捨てる。
- 眼に入った場合
- ・ 直ちに正常な流水で15分以上洗い、速やかに医師の診察を受ける。
- 飲み込んだ場合
- ・ 意識のある場合は水を与えるが、無理に吐かせない。
 - ・ 直ちに医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 噴霧水、粉末消火剤、水溶性液体用泡消火剤、乾燥砂、炭酸ガス
- 使ってはならない消火剤 : 棒状注水
- 特有の消火方法 : 周辺火災の場合は、容器を安全な場所に移す。
移動が不可能な場合は散水により冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 保護手袋、呼吸用保護具、安全ゴーグルなど適切な保護具を着用すること。
着火源を断ち、適切な消火剤を用いて風上から消火する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項
保護具及び緊急時措置 : 作業の際には保護眼鏡、保護手袋、防毒マスクなど適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
直ちに周囲を漏えい区域として隔離し、関係者以外の立ち入りを禁止する。
風上にとどまる。
周囲での火気の取り扱いを中止する。
- 環境に対する注意事項 : 漏えいした液は、極力環境中に放出しないように流出防止を行い、回収する。
- 回収・中和 : 乾燥土や砂、不燃材料で吸収し、または覆って密閉容器に回収する。
回収する際に用いる器具は、すべて防爆仕様の器具を使用すること。
作業時に使用するすべての設備は接地する
残留したものはウエス等でふき取る。
- 二次災害の防止策 : 漏えい場所は関係者以外立ち入り禁止区域とし、火気厳禁とする。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取り扱い及び保管上の注意

安全データシート

取り扱い	
技術的対策	: 『8.暴露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、適切な保護具を着用する。
注意事項	: 取扱場付近では火気の使用を禁止する。 高温で使用する場合は、『8.暴露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体排気を行う
安全取り扱い注意事項	: 『10.安定性及び反応性』を参照し、危険な物質、条件を回避する。
保管	
安全な保管条件	: 直射日光、雨を避ける 不浸透性の床面の場所で保管する。 炎、火花、高温体との接近、または加熱を避けるとともにみだりに蒸気を発生させない。 強酸化剤、強塩基、強酸と共存させない。
安全な容器包装材料	: 消防法で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	: 高温で蒸気が発生する場合を除き、局所排気装置は特に必要としない。 作業場には洗眼器、手洗い設備、シャワー等を設置する。
------	--

管理濃度

化学名/一般名	管理濃度	日本産学衛生学会	ACGIH
ジエチレングリコール	未設定	未設定	未設定

保護具

呼吸器用保護具	: 通常は不要だが、高温時には有機ガス用防毒マスクを着用する。
手の保護具	: 適切な保護手袋を着用する。
眼の保護具	: 適切な眼の保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具	: 適切な保護衣/保護前掛けを着用する。
適切な衛生対策	:

9. 物理的及び化学的性質

外観	
物理的状态/形状	: 液体
色	: 無色透明
臭い	: 無臭
pH	: 6~7
融点・凝固点	: -8℃
沸点	: 245℃(101.3kPa)
初留点	: 197℃
引火点	: 152℃
発火点	: 229℃
爆発範囲	: 上限 12.2Vol% 下限 1.8Vol%
蒸気圧	: <1.33Pa(20℃)
蒸気密度	: データなし
比重	: 1.1185(20/20℃)
溶解度	: 任意に水に溶解
n-オクタノール/水分配係数	: log pow = -1.98
分解温度	: データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	: 通常の取り扱い条件においては安定
危険有害反応可能性	: 強酸化剤、強塩基と反応する。
避けるべき条件	: 強酸化剤、強塩基との接触を避ける

安全データシート

混触危険物質 : 強酸化剤、強塩基
危険有害な生成物 : 有用な情報なし

11. 有害性情報

記載の無いものはGHSカットオフ値未満もしくは知見なし、データなしの成分

急性毒性 : 経口 ラット LD50 12565mg/kg
経口 ウサギ LD50 11890mg/kg
皮膚腐食性・刺激性 : 軽度の皮膚刺激(ウサギ) 区分3
眼に対する重篤な損傷 : 軽度の眼刺激(ウサギ) 区分2B
/眼刺激性
発がん性 : IARC、NTPのリスト未記載 区分外

12. 環境衛生情報

生体毒性 : 魚類(モスクイトフィッシュ) TLm96 32000mg/L(96h)
残留性・分解性 : BOD 82~98%(標準法)

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
焼却または活性汚泥処理をする。
場外処理をする場合は、資格を得た産業廃棄物処理業者に委託する。

汚染容器及び包装 : 使用済みの容器はほかの物質を混入させたり、ほかの用途に使用したりせず、内容液を上記に従って処分洗浄した後、容器を処分する。
容器を廃棄する場合は、製造業者等専門業者に回収を依頼する、リサイクル容器は内部に何もいれず、蓋を密閉してそのまま返却する。
容器はガス溶断、ドリル等火気を用いて切断や穴あけ等しない。

14. 輸送上の注意

国際規制
海上規制情報 : IMOの規定に従う
陸上規制情報 : ICAO/IATAの規定に従う
国連分類 : 非該当

国内規制
陸上輸送 : 消防法の規定に従う。
海上輸送 : 船舶安全法の規定に従う。
航空輸送 : 航空法の規定に従う。

積載方法 : 運搬時の積み重ね高さは3m以下

混載禁止 : 第1類及び第6類の危険物との混載禁止。

輸送の特定の安全対策及び条件 : 転落し、または危険物を収納した運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載すること。
食糧や飼料と一緒に輸送してはならない。
火気厳禁。
荷崩れ防止を確実にを行う。
該当法令に従い包装、表示、輸送を行う。
直射日光を避ける。
水ぬれ厳禁。
横積み厳禁。
夏場の輸送時においては、熱い鉄板、地面等の上に直接置かないこと。

15. 適用法令

消防法 : 危険物 第4類第3石油類 水溶性
労働安全衛生法 : 非該当
特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の促進の改善の促進に関する法(PRTR法)

安全データシート

第1種指定化学物質	: 非該当
第2種指定化学物質	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
海洋汚染防止法	: Z類物質

16. その他情報

参考文献

原料メーカー発行の製品安全データシート

GHS分類結果データベース(独立行政法人製品評価技術基盤機構HP)

中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP

GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・データシート作成指針(日本化学工業協会)

GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

JISA7253(2012)

※ 注意

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として、取扱事業者提供されるものです。取り扱う事業者はこれを参考として、自らの責任において個々の取り扱いなどの実態に応じた処置を講ずることが必要であることを理解したうえで活用されるよう、お願い致します。従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。